

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190563001001	科目番号 / Course code	05630010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEKR 11119_032		
授業科目名 / Course title	韓国語 (G1~G3_L(韓1)) / Korean		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Course Category	外国語科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	you-kiss nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2081		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日3限 その他の曜日と時間を希望する場合は、授業開始前もしくは終了後にご相談ください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	積極的な学生参加型授業を行います。韓国語の基本文法を理解し、基本的な会話文でコミュニケーションできることを目標とします。さらに、韓国語の発音及びリスニング力を身につけます。韓国語の基本的な4技能(聞く、話す、読む、書く)を身につけ、簡単なコミュニケーションができることを目標とします。		
授業到達目標/Course goals	?主体的に他者とコミュニケーションし、協働できる。 ?ハンゲル文字を読み、書くことができる。 ?与えられたトピックについて、口頭(2分以上)及び文章で自己表現することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への取り組み方 20% 出席が3分の2に達しない場合、定期試験の受験資格は与えられない。 課題 20% Performance Test 30% Paper Test (定期試験) 30%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事後学習のため、毎回、課題(ワークシート)が課されます。		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	プリントを配布します。プリントはファイルで整理したうえで授業に持参してください。過去のプリントは教室ではお渡しできません。教員研究室に取りに来てください。授業中に使用した紙媒体のものはすべてファイリングし、卒業時まで保管してください。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	原則、全回出席しなければなりません。出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格となります。入室の際、ICカードリーダーで打刻してください。やむを得ず欠席した場合は、必要な書類を教員に提出してください。必要書類は教養教育事務室で確認してください。教員にメールや電話で連絡する必要はありません。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	これからの社会において、自分とは異なる背景や考え方をもちた人との協働は、避けられません。教養教育では、異学部の学生と関わり合える貴重な機会です。授業でよく分からないところがあるときは、隣の人に声をかけ、教えてもらいましょう。また、困った様子の人がいるときは、自分から声をかけ、助けてあげましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション ウォームアップ・アクティビティ
第2回	Task：透視能力はある？
第3回	Task：きょうだいはいる？
第4回	Task：相性No. 1はだれ？
第5回	Task：クラスの実態調査
第6回	Project 1 自己紹介しよう
第7回	スピーキングテスト
第8回	Task：ハンバーガーショップで?@
第9回	Task：ハンバーガーショップで?A
第10回	Task：クイズ！私は何をしているのでしょうか？
第11回	Task：Summer Vacation Bingo
第12回	Task：私の趣味は
第13回	Task：一週間の予定は？
第14回	Project 2 身近な人を紹介しよう
第15回	スピーキングテスト
第16回	定期試験（ペーパーテスト）

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/24		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190563001002	科目番号 / Course code	05630010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEKR 11119_032		
授業科目名 / Course title	韓国語 (P1・P2_T(韓2)) / Korean		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Course Category	外国語科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	you-kiss nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2081		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日3限 その他の曜日と時間を希望する場合は、授業開始前もしくは終了後にご相談ください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	積極的な学生参加型授業を行います。韓国語の基本文法を理解し、基本的な会話文でコミュニケーションできることを目標とします。さらに、韓国語の発音及びリスニング力を身につけます。韓国語の基本的な4技能(聞く、話す、読む、書く)を身につけ、簡単なコミュニケーションができることを目標とします。		
授業到達目標/Course goals	?主体的に他者とコミュニケーションし、協働できる。 ?ハングル文字を読み、書くことができる。 ?与えられたトピックについて、口頭(2分以上)及び文章で自己表現することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への取り組み方 20% 出席が3分の2に達しない場合、定期試験の受験資格は与えられない。 課題 20% Performance Test 30% Paper Test (定期試験) 30%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事後学習のため、毎回、課題(ワークシート)が課されます。		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	プリントを配布します。プリントはファイルで整理したうえで授業に持参してください。過去のプリントは教室ではお渡しできません。教員研究室に取りに来てください。授業中に使用した紙媒体のものはすべてファイリングし、卒業時まで保管してください。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	原則、全回出席しなければなりません。出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格となります。入室の際、ICカードリーダーで打刻してください。やむを得ず欠席した場合は、必要な書類を教員に提出してください。必要書類は教養教育事務室で確認してください。教員にメールや電話で連絡する必要はありません。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	これからの社会において、自分とは異なる背景や考え方をもちた人との協働は、避けられません。教養教育では、異学部の学生と関わり合える貴重な機会です。授業でよく分からないところがあるときは、隣の人に声をかけ、教えてもらいましょう。また、困った様子の人がいるときは、自分から声をかけ、助けてあげましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション ウォームアップ・アクティビティ
第2回	Task：透視能力はある？
第3回	Task：きょうだいはいる？
第4回	Task：相性No. 1はだれ？
第5回	Task：クラスの実態調査
第6回	Project 1 自己紹介しよう
第7回	スピーキングテスト
第8回	Task：ハンバーガーショップで?@
第9回	Task：ハンバーガーショップで?A
第10回	Task：クイズ！私は何をしているのでしょうか？
第11回	Task：Summer Vacation Bingo
第12回	Task：私の趣味は
第13回	Task：一週間の予定は？
第14回	Project 2 身近な人を紹介しよう
第15回	スピーキングテスト
第16回	定期試験（ペーパーテスト）

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/24		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190563001003	科目番号 / Course code	05630010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEKR 11119_032		
授業科目名 / Course title	韓国語 (L(韓2)_E(韓1))_F1~F3) / Korean		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Course Category	外国語科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	you-kiss nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2081		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日3限 その他の曜日と時間を希望する場合は、授業開始前もしくは終了後にご相談ください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	積極的な学生参加型授業を行います。韓国語の基本文法を理解し、基本的な会話文でコミュニケーションできることを目標とします。さらに、韓国語の発音及びリスニング力を身につけます。韓国語の基本的な4技能(聞く、話す、読む、書く)を身につけ、簡単なコミュニケーションができることを目標とします。		
授業到達目標/Course goals	?主体的に他者とコミュニケーションし、協働できる。 ?ハングル文字を読み、書くことができる。 ?与えられたトピックについて、口頭(2分以上)及び文章で自己表現することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への取り組み方 20% 出席が3分の2に達しない場合、定期試験の受験資格は与えられない。 課題 20% Performance Test 30% Paper Test (定期試験) 30%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事後学習のため、毎回、課題(ワークシート)が課されます。		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	プリントを配布します。プリントはファイルで整理したうえで授業に持参してください。過去のプリントは教室ではお渡しできません。教員研究室に取りに来てください。授業中に使用した紙媒体のものはすべてファイリングし、卒業時まで保管してください。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	原則、全回出席しなければなりません。出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格となります。入室の際、ICカードリーダーで打刻してください。やむを得ず欠席した場合は、必要な書類を教員に提出してください。必要書類は教養教育事務室で確認してください。教員にメールや電話で連絡する必要はありません。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	これからの社会において、自分とは異なる背景や考え方をもちた人との協働は、避けられません。教養教育では、異学部の学生と関わり合える貴重な機会です。授業でよく分からないところがあるときは、隣の人に声をかけ、教えてもらいましょう。また、困った様子の人がいるときは、自分から声をかけ、助けてあげましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション ウォームアップ・アクティビティ
第2回	Task：透視能力はある？
第3回	Task：きょうだいはいる？
第4回	Task：相性No. 1はだれ？
第5回	Task：クラスの実態調査
第6回	Project 1 自己紹介しよう
第7回	スピーキングテスト
第8回	Task：ハンバーガーショップで?@
第9回	Task：ハンバーガーショップで?A
第10回	Task：クイズ！私は何をしているのでしょうか？
第11回	Task：Summer Vacation Bingo
第12回	Task：私の趣味は
第13回	Task：一週間の予定は？
第14回	Project 2 身近な人を紹介しよう
第15回	スピーキングテスト
第16回	定期試験（ペーパーテスト）

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/24		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190563001004	科目番号 / Course code	05630010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEKR 11119_032		
授業科目名 / Course title	韓国語 (E(韓2)_D1・D2) / Korean		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Course Category	外国語科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	you-kiss nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2081		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日3限 その他の曜日と時間を希望する場合は、授業開始前もしくは終了後にご相談ください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	積極的な学生参加型授業を行います。韓国語の基本文法を理解し、基本的な会話文でコミュニケーションできることを目標とします。さらに、韓国語の発音及びリスニング力を身につけます。韓国語の基本的な4技能(聞く、話す、読む、書く)を身につけ、簡単なコミュニケーションができることを目標とします。		
授業到達目標/Course goals	?主体的に他者とコミュニケーションし、協働できる。 ?ハンゲル文字を読み、書くことができる。 ?与えられたトピックについて、口頭(2分以上)及び文章で自己表現することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への取り組み方 20% 出席が3分の2に達しない場合、定期試験の受験資格は与えられない。 課題 20% Performance Test 30% Paper Test (定期試験) 30%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事後学習のため、毎回、課題(ワークシート)が課されます。		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	プリントを配布します。プリントはファイルで整理したうえで授業に持参してください。過去のプリントは教室ではお渡しできません。教員研究室に取りに来てください。授業中に使用した紙媒体のものはすべてファイリングし、卒業時まで保管してください。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	原則、全回出席しなければなりません。出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格となります。入室の際、ICカードリーダーで打刻してください。やむを得ず欠席した場合は、必要な書類を教員に提出してください。必要書類は教養教育事務室で確認してください。教員にメールや電話で連絡する必要はありません。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	これからの社会において、自分とは異なる背景や考え方をもちた人との協働は、避けられません。教養教育では、異学部の学生と関わり合える貴重な機会です。授業でよく分からないところがあるときは、隣の人に声をかけ、教えてもらいましょう。また、困った様子の人がいるときは、自分から声をかけ、助けてあげましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション ウォームアップ・アクティビティ
第2回	Task：透視能力はある？
第3回	Task：きょうだいはいる？
第4回	Task：相性No. 1はだれ？
第5回	Task：クラスの実態調査
第6回	Project 1 自己紹介しよう
第7回	スピーキングテスト
第8回	Task：ハンバーガーショップで?@
第9回	Task：ハンバーガーショップで?A
第10回	Task：クイズ！私は何をしているのでしょうか？
第11回	Task：Summer Vacation Bingo
第12回	Task：私の趣味は
第13回	Task：一週間の予定は？
第14回	Project 2 身近な人を紹介しよう
第15回	スピーキングテスト
第16回	定期試験（ペーパーテスト）



学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190563001005	科目番号 / Course code	05630010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEKR 11119_032		
授業科目名 / Course title	韓国語 (M1 ~ M6_T(韓1)_K1 ~ K3) / Korean		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Course Category	外国語科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	you-kiss nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2081		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日3限 その他の曜日と時間を希望する場合は、授業開始前もしくは終了後にご相談ください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	積極的な学生参加型授業を行います。韓国語の基本文法を理解し、基本的な会話文でコミュニケーションできることを目標とします。さらに、韓国語の発音及びリスニング力を身につけます。韓国語の基本的な4技能(聞く、話す、読む、書く)を身につけ、簡単なコミュニケーションができることを目標とします。		
授業到達目標/Course goals	?主体的に他者とコミュニケーションし、協働できる。 ?ハンゲル文字を読み、書くことができる。 ?与えられたトピックについて、口頭(2分以上)及び文章で自己表現することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への取り組み方 20% 出席が3分の2に達しない場合、定期試験の受験資格は与えられない。 課題 20% Performance Test 30% Paper Test (定期試験) 30%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事後学習のため、毎回、課題(ワークシート)が課されます。		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	プリントを配布します。プリントはファイルで整理したうえで授業に持参してください。過去のプリントは教室ではお渡しできません。教員研究室に取りに来てください。授業中に使用した紙媒体のものはすべてファイリングし、卒業時まで保管してください。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	原則、全回出席しなければなりません。出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格となります。入室の際、ICカードリーダーで打刻してください。やむを得ず欠席した場合は、必要な書類を教員に提出してください。必要書類は教養教育事務室で確認してください。教員にメールや電話で連絡する必要はありません。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	これからの社会において、自分とは異なる背景や考え方をもちた人との協働は、避けられません。教養教育では、異学部の学生と関わり合える貴重な機会です。授業でよく分からないところがあるときは、隣の人に声をかけ、教えてもらいましょう。また、困った様子の人がいるときは、自分から声をかけ、助けてあげましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション ウォームアップ・アクティビティ
第2回	Task：透視能力はある？
第3回	Task：きょうだいはいる？
第4回	Task：相性No. 1はだれ？
第5回	Task：クラスの実態調査
第6回	Project 1 自己紹介しよう
第7回	スピーキングテスト
第8回	Task：ハンバーガーショップで?@
第9回	Task：ハンバーガーショップで?A
第10回	Task：クイズ！私は何をしているのでしょうか？
第11回	Task：Summer Vacation Bingo
第12回	Task：私の趣味は
第13回	Task：一週間の予定は？
第14回	Project 2 身近な人を紹介しよう
第15回	スピーキングテスト
第16回	定期試験（ペーパーテスト）

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/22		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190563003001	科目番号 / Course code	05630030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEKR 11219_032		
授業科目名 / Course title	韓国語 (P1・P2_T(韓2)) / Korean		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	you-kiss nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2081		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日3限 その他の曜日と時間を希望する場合は、授業開始前もしくは終了後にご相談ください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	積極的な学生参加型授業を行います。韓国語の基本文法を理解し、基本的な会話文でコミュニケーションできることを目標とします。さらに、韓国語の発音及びリスニング力を身につけます。韓国語の基本的な4技能(聞く、話す、読む、書く)を身につけ、簡単なコミュニケーションができることを目標とします。		
授業到達目標/Course goals	?主体的に他者とコミュニケーションし、協働できる。 ?ハングル文字を読み、書くことができる。 ?与えられたトピックについて、口頭(2分以上)及び文章で自己表現することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への取り組み方 20% 出席が3分の2に達しない場合、定期試験の受験資格は与えられない。 課題 20% Performance Test 30% Paper Test (定期試験) 30%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事後学習のため、毎回、課題(ワークシート)が課されます。		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	プリントを配布します。プリントはファイルで整理したうえで授業に持参してください。過去のプリントは教室ではお渡しできません。教員研究室に取りに来てください。授業中に使用した紙媒体のものはすべてファイリングし、卒業時まで保管してください。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	原則、全回出席しなければなりません。出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格となります。入室の際、ICカードリーダーで打刻してください。やむを得ず欠席した場合は、必要な書類を教員に提出してください。必要書類は教養教育事務室で確認してください。教員にメールや電話で連絡する必要はありません。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	これからの社会において、自分とは異なる背景や考え方をもちた人との協働は、避けられません。教養教育では、異学部の学生と関わり合える貴重な機会です。授業でよく分からないところがあるときは、隣の人に声をかけ、教えてもらいましょう。また、困った様子の人がいるときは、自分から声をかけ、助けてあげましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション ウォームアップ・アクティビティ
第2回	Task : 夏休みビンゴ
第3回	Task : I went to Australia to see koalas.
第4回	Task : インタビュー したことある？
第5回	Task : 週末何した？
第6回	Project 3 夏休みの思い出
第7回	スピーキングテスト
第8回	Task : 道案内しよう?@
第9回	Task : 道案内しよう?A
第10回	Task : 新入社員を採用しよう！
第11回	Task : やることリスト
第12回	Task : Because I don't have money.
第13回	Task : 今年の目標は？
第14回	Project 4 将来の夢
第15回	スピーキングテスト
第16回	定期試験（ペーパーテスト）

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/22		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190563003002	科目番号 / Course code	05630030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEKR 11219_032		
授業科目名 / Course title	韓国語 (L(韓2)_E(韓1))_F1~F3) / Korean		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	you-kiss nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2081		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日5限 その他の曜日と時間を希望する場合は、授業開始前もしくは終了後にご相談ください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	積極的な学生参加型授業を行います。韓国語の基本文法を理解し、基本的な会話文でコミュニケーションできることを目標とします。さらに、韓国語の発音及びリスニング力を身につけます。韓国語の基本的な4技能(聞く、話す、読む、書く)を身につけ、簡単なコミュニケーションができることを目標とします。		
授業到達目標/Course goals	?主体的に他者とコミュニケーションし、協働できる。 ?ハングル文字を読み、書くことができる。 ?与えられたトピックについて、口頭(2分以上)及び文章で自己表現することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への取り組み方 20% 出席が3分の2に達しない場合、定期試験の受験資格は与えられない。 課題 20% Performance Test 30% Paper Test (定期試験) 30%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事後学習のため、毎回、課題(ワークシート)が課されます。		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	プリントを配布します。プリントはファイルで整理したうえで授業に持参してください。過去のプリントは教室ではお渡しできません。教員研究室に取りに来てください。授業中に使用した紙媒体のものはすべてファイリングし、卒業時まで保管してください。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	原則、全回出席しなければなりません。出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格となります。入室の際、ICカードリーダーで打刻してください。やむを得ず欠席した場合は、必要な書類を教員に提出してください。必要書類は教養教育事務室で確認してください。教員にメールや電話で連絡する必要はありません。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	これからの社会において、自分とは異なる背景や考え方をもちた人との協働は、避けられません。教養教育では、異学部の学生と関わり合える貴重な機会です。授業でよく分からないところがあるときは、隣の人に声をかけ、教えてもらいましょう。また、困った様子の人がいるときは、自分から声をかけ、助けてあげましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション ウォームアップ・アクティビティ
第2回	Task : 夏休みビンゴ
第3回	Task : I went to Australia to see koalas.
第4回	Task : インタビュー したことある？
第5回	Task : 週末何した？
第6回	Project 3 夏休みの思い出
第7回	スピーキングテスト
第8回	Task : 道案内しよう?@
第9回	Task : 道案内しよう?A
第10回	Task : 新入社員を採用しよう！
第11回	Task : やることリスト
第12回	Task : Because I don't have money.
第13回	Task : 今年の目標は？
第14回	Project 4 将来の夢
第15回	スピーキングテスト
第16回	定期試験 (ペーパーテスト)

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/22		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190563003003	科目番号 / Course code	05630030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEKR 11219_032		
授業科目名 / Course title	韓国語 (G1 ~ G3_L(韓1)) / Korean		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	you-kiss nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2081		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日5限 その他の曜日と時間を希望する場合は、授業開始前もしくは終了後にご相談ください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	積極的な学生参加型授業を行います。韓国語の基本文法を理解し、基本的な会話文でコミュニケーションできることを目標とします。さらに、韓国語の発音及びリスニング力を身につけます。韓国語の基本的な4技能(聞く、話す、読む、書く)を身につけ、簡単なコミュニケーションができることを目標とします。		
授業到達目標/Course goals	?主体的に他者とコミュニケーションし、協働できる。 ?ハングル文字を読み、書くことができる。 ?与えられたトピックについて、口頭(2分以上)及び文章で自己表現することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への取り組み方 20% 出席が3分の2に達しない場合、定期試験の受験資格は与えられない。 課題 20% Performance Test 30% Paper Test (定期試験) 30%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事後学習のため、毎回、課題(ワークシート)が課されます。		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	プリントを配布します。プリントはファイルで整理したうえで授業に持参してください。過去のプリントは教室ではお渡しできません。教員研究室に取りに来てください。授業中に使用した紙媒体のものはすべてファイリングし、卒業時まで保管してください。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	原則、全回出席しなければなりません。出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格となります。入室の際、ICカードリーダーで打刻してください。やむを得ず欠席した場合は、必要な書類を教員に提出してください。必要書類は教養教育事務室で確認してください。教員にメールや電話で連絡する必要はありません。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	これからの社会において、自分とは異なる背景や考え方をもちた人との協働は、避けられません。教養教育では、異学部の学生と関わり合える貴重な機会です。授業でよく分からないところがあるときは、隣の人に声をかけ、教えてもらいましょう。また、困った様子の人がいるときは、自分から声をかけ、助けてあげましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション ウォームアップ・アクティビティ
第2回	Task : 夏休みビンゴ
第3回	Task : I went to Australia to see koalas.
第4回	Task : インタビュー したことある？
第5回	Task : 週末何した？
第6回	Project 3 夏休みの思い出
第7回	スピーキングテスト
第8回	Task : 道案内しよう?@
第9回	Task : 道案内しよう?A
第10回	Task : 新入社員を採用しよう！
第11回	Task : やることリスト
第12回	Task : Because I don't have money.
第13回	Task : 今年の目標は？
第14回	Project 4 将来の夢
第15回	スピーキングテスト
第16回	定期試験 (ペーパーテスト)



学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/22		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190563003004	科目番号 / Course code	05630030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEKR 11219_032		
授業科目名 / Course title	韓国語 (E(韓2)_D1・D2) / Korean		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	you-kiss nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2081		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日5限 その他の曜日と時間を希望する場合は、授業開始前もしくは終了後にご相談ください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	積極的な学生参加型授業を行います。韓国語の基本文法を理解し、基本的な会話文でコミュニケーションできることを目標とします。さらに、韓国語の発音及びリスニング力を身につけます。韓国語の基本的な4技能(聞く、話す、読む、書く)を身につけ、簡単なコミュニケーションができることを目標とします。		
授業到達目標/Course goals	?主体的に他者とコミュニケーションし、協働できる。 ?ハンゲル文字を読み、書くことができる。 ?与えられたトピックについて、口頭(2分以上)及び文章で自己表現することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への取り組み方 20% 出席が3分の2に達しない場合、定期試験の受験資格は与えられない。 課題 20% Performance Test 30% Paper Test (定期試験) 30%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事後学習のため、毎回、課題(ワークシート)が課されます。		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	プリントを配布します。プリントはファイルで整理したうえで授業に持参してください。過去のプリントは教室ではお渡しできません。教員研究室に取りに来てください。授業中に使用した紙媒体のものはすべてファイリングし、卒業時まで保管してください。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	原則、全回出席しなければなりません。出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格となります。入室の際、ICカードリーダーで打刻してください。やむを得ず欠席した場合は、必要な書類を教員に提出してください。必要書類は教養教育事務室で確認してください。教員にメールや電話で連絡する必要はありません。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	これからの社会において、自分とは異なる背景や考え方をもちた人との協働は、避けられません。教養教育では、異学部の学生と関わり合える貴重な機会です。授業でよく分からないところがあるときは、隣の人に声をかけ、教えてもらいましょう。また、困った様子の人がいるときは、自分から声をかけ、助けてあげましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション ウォームアップ・アクティビティ
第2回	Task : 夏休みビンゴ
第3回	Task : I went to Australia to see koalas.
第4回	Task : インタビュー したことある？
第5回	Task : 週末何した？
第6回	Project 3 夏休みの思い出
第7回	スピーキングテスト
第8回	Task : 道案内しよう?@
第9回	Task : 道案内しよう?A
第10回	Task : 新入社員を採用しよう！
第11回	Task : やることリスト
第12回	Task : Because I don't have money.
第13回	Task : 今年の目標は？
第14回	Project 4 将来の夢
第15回	スピーキングテスト
第16回	定期試験（ペーパーテスト）

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190563003005	科目番号 / Course code	05630030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEKR 11219_032		
授業科目名 / Course title	韓国語 (M1 ~ M6_T(韓1)_K1 ~ K3) / Korean		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	you-kiss nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2081		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日5限 その他の曜日と時間を希望する場合は、授業開始前もしくは終了後にご相談ください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	積極的な学生参加型授業を行います。韓国語の基本文法を理解し、基本的な会話文でコミュニケーションできることを目標とします。さらに、韓国語の発音及びリスニング力を身につけます。韓国語の基本的な4技能(聞く、話す、読む、書く)を身につけ、簡単なコミュニケーションができることを目標とします。		
授業到達目標/Course goals	?主体的に他者とコミュニケーションし、協働できる。 ?ハンゲル文字を読み、書くことができる。 ?与えられたトピックについて、口頭(2分以上)及び文章で自己表現することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への取り組み方 20% 出席が3分の2に達しない場合、定期試験の受験資格は与えられない。 課題 20% Performance Test 30% Paper Test (定期試験) 30%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事後学習のため、毎回、課題(ワークシート)が課されます。		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	プリントを配布します。プリントはファイルで整理したうえで授業に持参してください。過去のプリントは教室ではお渡しできません。教員研究室に取りに来てください。授業中に使用した紙媒体のものはすべてファイリングし、卒業時まで保管してください。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	原則、全回出席しなければなりません。出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格となります。入室の際、ICカードリーダーで打刻してください。やむを得ず欠席した場合は、必要な書類を教員に提出してください。必要書類は教養教育事務室で確認してください。教員にメールや電話で連絡する必要はありません。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 ( TEL ) 095-819-2006 ( FAX ) 095-819-2948 ( E-MAIL ) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 ( URL ) /Remarks ( URL )	
学生へのメッセージ/Message for students	これからの社会において、自分とは異なる背景や考え方をもちた人との協働は、避けられません。教養教育では、異学部の学生と関わり合える貴重な機会です。授業でよく分からないところがあるときは、隣の人に声をかけ、教えてもらいましょう。また、困った様子の人がいるときは、自分から声をかけ、助けてあげましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか ( Y / N ) / Instructor(s) with practical experience ( Y / N )	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 ( 実務経験のある教員による授業科目のみ使用 ) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回 ( 日時 ) / Time ( date and time )	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション ウォームアップ・アクティビティ
第2回	Task : 夏休みビンゴ
第3回	Task : I went to Australia to see koalas.
第4回	Task : インタビュー したことある ?
第5回	Task : 週末何した ?
第6回	Project 3 夏休みの思い出
第7回	スピーキングテスト
第8回	Task : 道案内しよう?@
第9回	Task : 道案内しよう?A
第10回	Task : 新入社員を採用しよう !
第11回	Task : やることリスト
第12回	Task : Because I don't have money.
第13回	Task : 今年の目標は ?
第14回	Project 4 将来の夢
第15回	スピーキングテスト
第16回	定期試験 ( ペーパーテスト )

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190563005001	科目番号 / Course code	05630050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEKR 11319_032		
授業科目名 / Course title	韓国語 (2M1 ~ 2M3_2D1・2D2_2T6 ~ 2T10) / Korean		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	you-kiss nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2081		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月曜日3限 その他の曜日と時間を希望する場合は、授業開始前もしくは終了後にご相談ください。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	韓国語?Tと?Uで身につけた4技能をもとに、よりリアルなコミュニケーション能力を伸ばします。		
授業到達目標 / Course goals	?主体的に他者とコミュニケーションし、協働できるようになる。 ?与えられたトピックについて、口頭(3分以上)、文章(80ワード以上)で自己表現できるようになる。 ?ハングルを読み、書くことができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への取り組み方 20% 出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格とする。 課題 20% Performance Test (Speaking Test / Reading Test) 30点 + Fun Essay 30点 + Paper Test 20点 (60%) 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	授業は予習課題をもとに進められます。予習課題の詳細は、第1回目の授業で、詳細シラバスを配布します。		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	プリントを配布します。ファイルで整理した上で、授業に持参してください。欠席した場合は、教員研究室に取りに来てください。過去のプリントは教室ではお渡しできません。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	原則、全回出席しなければなりません。出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格となります。入室の際、ICカードリーダーで打刻してください。やむを得ず、欠席した場合は、必要な書類を教員に提出してください。必要書類については教養教育事務室で確認してください。教員にメールや電話で連絡する必要はありません。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	これからの社会において、異なる背景や考え方をもちた人との協働はもはや避けられません。教養教育は、異学部の学生と関わりあえる貴重な機会です。授業でよく分からないところがある場合は、隣の人に声をかけ、助けてもらいましょう。また、困った様子の人がいるときは、自分から声をかけ、助けてもらいましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Topic 1: Three things about Me Brain Storming 1-minute conversation
第2回	Topic 1: Three things about Me Peer-editing 2-minute conversation
第3回	Topic 1: Three things about Me Recording & Transcription 3-minute conversation
第4回	Topic 1: Three things about Me Common Mistakes 3-minute conversation
第5回	Reading Test
第6回	TestTopic 2: Local Culture Brain Storming 1-minute
第7回	conversationTopic 2: Local Culture Peer-editing 2-minute
第8回	conversationTopic 2: Local Culture Recording & Transcription 3-minute
第9回	conversationTopic 2: Local Culture Common Mistakes 3-minute conversation
第10回	Speaking
第11回	TestPaper Test Topic 3: Life Styles Brain Storming 1-minute conversation
第12回	Topic 3: Life Styles Peer-editing 2-minute conversation
第13回	Topic 3: Life Styles Recording & Transcription 3-minute conversation
第14回	Topic 3: Life Styles Common Mistakes 3-minute conversation
第15回	Speaking Test
第16回	成果物の返却 Paper Test 追試

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190563005002	科目番号 / Course code	05630050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEKR 11319_032		
授業科目名 / Course title	韓国語 (2T1 ~ 2T5_2K1 ~ 2K3) / Korean		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	you-kiss nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2081		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日3限 その他の曜日と時間を希望する場合は、授業開始前もしくは終了後にご相談ください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	韓国語?Tと?Uで身につけた4技能をもとに、よりリアルなコミュニケーション能力を伸張します。		
授業到達目標/Course goals	?主体的に他者とコミュニケーションし、協働できるようになる。 ?与えられたトピックについて、口頭(3分以上)、文章(80ワード以上)で自己表現できるようになる。 ?ハングルを読み、書くことができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への取り組み方 20% 出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格とする。 課題 20% Performance Test (Speaking Test / Reading Test) 30点 + Fun Essay 30点 + Paper Test 20点 (60%) 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	授業は予習課題をもとに進められます。予習課題の詳細は、第1回目の授業で、詳細シラバスを配布します。		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	プリントを配布します。ファイルで整理した上で、授業に持参してください。欠席した場合は、教員研究室に取りに来てください。過去のプリントは教室ではお渡しできません。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	原則、全回出席しなければなりません。出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格となります。入室の際、ICカードリーダーで打刻してください。やむを得ず、欠席した場合は、必要な書類を教員に提出してください。必要書類については教養教育事務室で確認してください。教員にメールや電話で連絡する必要はありません。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	これからの社会において、異なる背景や考え方をもちた人との協働はもはや避けられません。教養教育は、異学部の学生と関わりあえる貴重な機会です。授業でよく分からないところがある場合は、隣の人に声をかけ、助けてもらいましょう。また、困った様子の人がいるときは、自分から声をかけ、助けてもらいましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Topic 1: Three things about Me Brain Storming 1-minute conversation
第2回	Topic 1: Three things about Me Peer-editing 2-minute conversation
第3回	Topic 1: Three things about Me Recording & Transcription 3-minute conversation
第4回	Topic 1: Three things about Me Common Mistakes 3-minute conversation
第5回	Reading Test
第6回	TestTopic 2: Local Culture Brain Storming 1-minute
第7回	conversationTopic 2: Local Culture Peer-editing 2-minute
第8回	conversationTopic 2: Local Culture Recording & Transcription 3-minute
第9回	conversationTopic 2: Local Culture Common Mistakes 3-minute conversation
第10回	Speaking
第11回	TestPaper Test Topic 3: Life Styles Brain Storming 1-minute conversation
第12回	Topic 3: Life Styles Peer-editing 2-minute conversation
第13回	Topic 3: Life Styles Recording & Transcription 3-minute conversation
第14回	Topic 3: Life Styles Common Mistakes 3-minute conversation
第15回	Speaking Test
第16回	成果物の返却 Paper Test 追試



学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190563005003	科目番号 / Course code	05630050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEKR 11319_032		
授業科目名 / Course title	韓国語 (2G1 ~ 2G3_2L1 ~ 2L3_2E1 ~ 2E3) / Korean		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟12 / RoomA-12		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	you-kiss nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2081		
担当教員オフィスアワー / Office hours	金曜日3限 その他の曜日と時間を希望する場合は、授業開始前もしくは終了後にご相談ください。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	韓国語?Tと?Uで身につけた4技能をもとに、よりリアルなコミュニケーション能力を伸張します。		
授業到達目標 / Course goals	?主体的に他者とコミュニケーションし、協働できるようになる。 ?与えられたトピックについて、口頭(3分以上)、文章(80ワード以上)で自己表現できるようになる。 ?ハングルを読み、書くことができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への取り組み方 20% 出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格とする。 課題 20% Performance Test (Speaking Test / Reading Test) 30点 + Fun Essay 30点 + Paper Test 20点 (60%) 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	授業は予習課題をもとに進められます。予習課題の詳細は、第1回目の授業で、詳細シラバスを配布します。		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	プリントを配布します。ファイルで整理した上で、授業に持参してください。欠席した場合は、教員研究室に取りに来てください。過去のプリントは教室ではお渡しできません。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	原則、全回出席しなければなりません。出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格となります。入室の際、ICカードリーダーで打刻してください。やむを得ず、欠席した場合は、必要な書類を教員に提出してください。必要書類については教養教育事務室で確認してください。教員にメールや電話で連絡する必要はありません。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	これからの社会において、異なる背景や考え方をもちた人との協働はもはや避けられません。教養教育は、異学部の学生と関わりあえる貴重な機会です。授業でよく分からないところがある場合は、隣の人に声をかけ、助けてもらいましょう。また、困った様子の人がいるときは、自分から声をかけ、助けてもらいましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Topic 1: Three things about Me Brain Storming 1-minute conversation
第2回	Topic 1: Three things about Me Peer-editing 2-minute conversation
第3回	Topic 1: Three things about Me Recording & Transcription 3-minute conversation
第4回	Topic 1: Three things about Me Common Mistakes 3-minute conversation
第5回	Reading Test
第6回	TestTopic 2: Local Culture Brain Storming 1-minute
第7回	conversationTopic 2: Local Culture Peer-editing 2-minute
第8回	conversationTopic 2: Local Culture Recording & Transcription 3-minute
第9回	conversationTopic 2: Local Culture Common Mistakes 3-minute conversation
第10回	Speaking
第11回	TestPaper Test Topic 3: Life Styles Brain Storming 1-minute conversation
第12回	Topic 3: Life Styles Peer-editing 2-minute conversation
第13回	Topic 3: Life Styles Recording & Transcription 3-minute conversation
第14回	Topic 3: Life Styles Common Mistakes 3-minute conversation
第15回	Speaking Test
第16回	成果物の返却 Paper Test 追試

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190563005004	科目番号 / Course code	05630050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEKR 11319_032		
授業科目名 / Course title	韓国語 (2E4 ~ 2E6_2P1・2P2_2F1 ~ 2F3) / Korean		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟12 / RoomA-12		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	you-kiss nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2081		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日3限 その他の曜日と時間を希望する場合は、授業開始前もしくは終了後にご相談ください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	韓国語?Tと?Uで身につけた4技能をもとに、よりリアルなコミュニケーション能力を伸ばします。		
授業到達目標/Course goals	?主体的に他者とコミュニケーションし、協働できるようになる。 ?与えられたトピックについて、口頭(3分以上)、文章(80ワード以上)で自己表現できるようになる。 ?ハングルを読み、書くことができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への取り組み方 20% 出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格とする。 課題 20% Performance Test (Speaking Test / Reading Test) 30点 + Fun Essay 30点 + Paper Test 20点 (60%) 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	授業は予習課題をもとに進められます。予習課題の詳細は、第1回目の授業で、詳細シラバスを配布します。		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	プリントを配布します。ファイルで整理した上で、授業に持参してください。欠席した場合は、教員研究室に取りに来てください。過去のプリントは教室ではお渡しできません。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	原則、全回出席しなければなりません。出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格となります。入室の際、ICカードリーダーで打刻してください。やむを得ず、欠席した場合は、必要な書類を教員に提出してください。必要書類については教養教育事務室で確認してください。教員にメールや電話で連絡する必要はありません。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	これからの社会において、異なる背景や考え方をもちた人との協働はもはや避けられません。教養教育は、異学部の学生と関わりあえる貴重な機会です。授業でよく分からないところがある場合は、隣の人に声をかけ、助けてもらいましょう。また、困った様子の人がいるときは、自分から声をかけ、助けてもらいましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Topic 1: Three things about Me Brain Storming 1-minute conversation
第2回	Topic 1: Three things about Me Peer-editing 2-minute conversation
第3回	Topic 1: Three things about Me Recording & Transcription 3-minute conversation
第4回	Topic 1: Three things about Me Common Mistakes 3-minute conversation
第5回	Reading Test
第6回	TestTopic 2: Local Culture Brain Storming 1-minute
第7回	conversationTopic 2: Local Culture Peer-editing 2-minute conversation
第8回	Topic 2: Local Culture Recording & Transcription 3-minute conversation
第9回	Topic 2: Local Culture Common Mistakes 3-minute conversation
第10回	Speaking Test
第11回	Paper Test Topic 3: Life Styles Brain Storming 1-minute conversation
第12回	Topic 3: Life Styles Peer-editing 2-minute conversation
第13回	Topic 3: Life Styles Recording & Transcription 3-minute conversation
第14回	Topic 3: Life Styles Common Mistakes 3-minute conversation
第15回	Speaking Test
第16回	成果物の返却 Paper Test 追試

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/02/03		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190563007001	科目番号 / Course code	05630070
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEKR 11419_032		
授業科目名 / Course title	韓国語 (2M1 ~ 2M3_2D1・2D2_2T6 ~ 2T10) / Korean		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	you-kiss nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2081		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日3限 その他の曜日と時間を希望する場合は、授業開始前もしくは終了後にご相談ください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	韓国語?Tと?Uで身につけた4技能をもとに、よりリアルなコミュニケーション能力を伸張します。		
授業到達目標/Course goals	?主体的に他者とコミュニケーションし、協働できるようになる。 ?与えられたトピックについて、口頭(3分以上)、文章(80ワード以上)で自己表現できるようになる。 ?ハングルを読み、書くことができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への取り組み方 20% 出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格とする。 課題 20% Performance Test (Speaking Test / Reading Test) 30点 + Fun Essay 30点 + Paper Test 20点 (60%) 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	授業は予習課題をもとに進められます。予習課題の詳細は、第1回目の授業で、詳細シラバスを配布します。		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	プリントを配布します。ファイルで整理した上で、授業に持参してください。欠席した場合は、教員研究室に取りに来てください。過去のプリントは教室ではお渡しできません。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	原則、全回出席しなければなりません。出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格となります。入室の際、ICカードリーダーで打刻してください。やむを得ず、欠席した場合は、必要な書類を教員に提出してください。必要書類については教養教育事務室で確認してください。教員にメールや電話で連絡する必要はありません。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	これからの社会において、異なる背景や考え方をもちた人との協働はもはや避けられません。教養教育は、異学部の学生と関わりあえる貴重な機会です。授業でよく分からないところがある場合は、隣の人に声をかけ、助けてもらいましょう。また、困った様子の人がいるときは、自分から声をかけ、助けてもらいましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Topic 1: How was the break Brain Storming 1-minute conversation
第2回	Topic 1: How was the break Peer-editing 2-minute conversation
第3回	Topic 1: How was the break Recording & Transcription 3-minute conversation
第4回	Topic 1: How was the break Common Mistakes 3-minute conversation
第5回	Reading Test
第6回	TestTopic 2: Close Friends Brain Storming 1-minute conversation
第7回	Topic 2: Close Friends Peer-editing 2-minute conversation
第8回	Topic 2: Close Friends Recording & Transcription 3-minute conversation
第9回	Topic 2: Close Friends Common Mistakes 3-minute conversation
第10回	Speaking Test
第11回	Paper Test Topic 3: Future Dreams Brain Storming 1-minute conversation
第12回	Topic 3: Future Dreams Peer-editing 2-minute conversation
第13回	Topic 3: Future Dreams Recording & Transcription 3-minute conversation
第14回	Topic 3: Llife Styles Common Mistakes 3-minute conversation
第15回	Speaking Test
第16回	成果物の返却 Paper Test 追試

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/02/03		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190563007002	科目番号 / Course code	05630070
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEKR 11419_032		
授業科目名 / Course title	韓国語 (2T1 ~ 2T5_2K1 ~ 2K3) / Korean		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	you-kiss nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2081		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月曜日3限 その他の曜日と時間を希望する場合は、授業開始前もしくは終了後にご相談ください。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	韓国語?Tと?Uで身につけた4技能をもとに、よりリアルなコミュニケーション能力を伸張します。		
授業到達目標 / Course goals	?主体的に他者とコミュニケーションし、協働できるようになる。 ?与えられたトピックについて、口頭(3分以上)、文章(80ワード以上)で自己表現できるようになる。 ?ハングルを読み、書くことができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への取り組み方 20% 出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格とする。 課題 20% Performance Test (Speaking Test / Reading Test) 30点 + Fun Essay 30点 + Paper Test 20点 (60%) 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	授業は予習課題をもとに進められます。予習課題の詳細は、第1回目の授業で、詳細シラバスを配布します。		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	プリントを配布します。ファイルで整理した上で、授業に持参してください。欠席した場合は、教員研究室に取りに来てください。過去のプリントは教室ではお渡しできません。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	原則、全回出席しなければなりません。出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格となります。入室の際、ICカードリーダーで打刻してください。やむを得ず、欠席した場合は、必要な書類を教員に提出してください。必要書類については教養教育事務室で確認してください。教員にメールや電話で連絡する必要はありません。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	これからの社会において、異なる背景や考え方をもちた人との協働はもはや避けられません。教養教育は、異学部の学生と関わりあえる貴重な機会です。授業でよく分からないところがある場合は、隣の人に声をかけ、助けてもらいましょう。また、困った様子の人がいるときは、自分から声をかけ、助けてもらいましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Topic 1: How was the break Brain Storming 1-minute conversation
第2回	Topic 1: How was the break Peer-editing 2-minute conversation
第3回	Topic 1: How was the break Recording & Transcription 3-minute conversation
第4回	Topic 1: How was the break Common Mistakes 3-minute conversation
第5回	Reading Test
第6回	TestTopic 2: Close Friends Brain Storming 1-minute conversation
第7回	Topic 2: Close Friends Peer-editing 2-minute conversation
第8回	Topic 2: Close Friends Recording & Transcription 3-minute conversation
第9回	Topic 2: Close Friends Common Mistakes 3-minute conversation
第10回	Speaking Test
第11回	Paper Test Topic 3: Future Dreams Brain Storming 1-minute conversation
第12回	Topic 3: Future Dreams Peer-editing 2-minute conversation
第13回	Topic 3: Future Dreams Recording & Transcription 3-minute conversation
第14回	Topic 3: Llife Styles Common Mistakes 3-minute conversation
第15回	Speaking Test
第16回	成果物の返却 Paper Test 追試



学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/23		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190563007003	科目番号 / Course code	05630070
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEKR 11419_032		
授業科目名 / Course title	韓国語 (2G1 ~ 2G3_2L1 ~ 2L3_2E1 ~ 2E3) / Korean		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	you-kiss nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2081		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日3限 その他の曜日と時間を希望する場合は、授業開始前もしくは終了後にご相談ください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	韓国語?Tと?Uで身につけた4技能をもとに、よりリアルなコミュニケーション能力を伸張します。		
授業到達目標/Course goals	?主体的に他者とコミュニケーションし、協働できるようになる。 ?与えられたトピックについて、口頭(3分以上)、文章(80ワード以上)で自己表現できるようになる。 ?ハングルを読み、書くことができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への取り組み方 20% 出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格とする。 課題 20% Performance Test (Speaking Test / Reading Test) 30点 + Fun Essay 30点 + Paper Test 20点 (60%) 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	授業は予習課題をもとに進められます。予習課題の詳細は、第1回目の授業で、詳細シラバスを配布します。		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	プリントを配布します。ファイルで整理した上で、授業に持参してください。欠席した場合は、教員研究室に取りに来てください。過去のプリントは教室ではお渡しできません。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	原則、全回出席しなければなりません。出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格となります。入室の際、ICカードリーダーで打刻してください。やむを得ず、欠席した場合は、必要な書類を教員に提出してください。必要書類については教養教育事務室で確認してください。教員にメールや電話で連絡する必要はありません。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	これからの社会において、異なる背景や考え方をもちた人との協働はもはや避けられません。教養教育は、異学部の学生と関わりあえる貴重な機会です。授業でよく分からないところがある場合は、隣の人に声をかけ、助けてもらいましょう。また、困った様子の人がいるときは、自分から声をかけ、助けてもらいましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Topic 1: How was the break Brain Storming 1-minute conversation
第2回	Topic 1: How was the break Peer-editing 2-minute conversation
第3回	Topic 1: How was the break Recording & Transcription 3-minute conversation
第4回	Topic 1: How was the break Common Mistakes 3-minute conversation
第5回	Reading Test
第6回	TestTopic 2: Close Friends Brain Storming 1-minute conversation
第7回	Topic 2: Close Friends Peer-editing 2-minute conversation
第8回	Topic 2: Close Friends Recording & Transcription 3-minute conversation
第9回	Topic 2: Close Friends Common Mistakes 3-minute conversation
第10回	Speaking Test
第11回	Paper Test Topic 3: Future Dreams Brain Storming 1-minute conversation
第12回	Topic 3: Future Dreams Peer-editing 2-minute conversation
第13回	Topic 3: Future Dreams Recording & Transcription 3-minute conversation
第14回	Topic 3: Llife Styles Common Mistakes 3-minute conversation
第15回	Speaking Test
第16回	成果物の返却 Paper Test 追試

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/23		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190563007004	科目番号 / Course code	05630070
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEKR 11419_032		
授業科目名 / Course title	韓国語 (2E4 ~ 2E6_2P1・2P2_2F1 ~ 2F3) / Korean		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	you-kiss nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2081		
担当教員オフィスアワー / Office hours	木曜日3限 その他の曜日と時間を希望する場合は、授業開始前もしくは終了後にご相談ください。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	韓国語?Tと?Uで身につけた4技能をもとに、よりリアルなコミュニケーション能力を伸張します。		
授業到達目標 / Course goals	?主体的に他者とコミュニケーションし、協働できるようになる。 ?与えられたトピックについて、口頭(3分以上)、文章(80ワード以上)で自己表現できるようになる。 ?ハングルを読み、書くことができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への取り組み方 20% 出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格とする。 課題 20% Performance Test (Speaking Test / Reading Test) 30点 + Fun Essay 30点 + Paper Test 20点 (60%) 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	授業は予習課題をもとに進められます。予習課題の詳細は、第1回目の授業で、詳細シラバスを配布します。		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	プリントを配布します。ファイルで整理した上で、授業に持参してください。欠席した場合は、教員研究室に取りに来てください。過去のプリントは教室ではお渡しできません。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	原則、全回出席しなければなりません。出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格となります。入室の際、ICカードリーダーで打刻してください。やむを得ず、欠席した場合は、必要な書類を教員に提出してください。必要書類については教養教育事務室で確認してください。教員にメールや電話で連絡する必要はありません。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	これからの社会において、異なる背景や考え方をもちた人との協働はもはや避けられません。教養教育は、異学部の学生と関わりあえる貴重な機会です。授業でよく分からないところがある場合は、隣の人に声をかけ、助けてもらいましょう。また、困った様子の人がいるときは、自分から声をかけ、助けてもらいましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Topic 1: How was the break Brain Storming 1-minute conversation
第2回	Topic 1: How was the break Peer-editing 2-minute conversation
第3回	Topic 1: How was the break Recording & Transcription 3-minute conversation
第4回	Topic 1: How was the break Common Mistakes 3-minute conversation
第5回	Reading Test
第6回	TestTopic 2: Close Friends Brain Storming 1-minute conversation
第7回	Topic 2: Close Friends Peer-editing 2-minute conversation
第8回	Topic 2: Close Friends Recording & Transcription 3-minute conversation
第9回	Topic 2: Close Friends Common Mistakes 3-minute conversation
第10回	Speaking Test
第11回	Paper Test Topic 3: Future Dreams Brain Storming 1-minute conversation
第12回	Topic 3: Future Dreams Peer-editing 2-minute conversation
第13回	Topic 3: Future Dreams Recording & Transcription 3-minute conversation
第14回	Topic 3: Llife Styles Common Mistakes 3-minute conversation
第15回	Speaking Test
第16回	成果物の返却 Paper Test 追試